



生活のバリアフリーグッズ

選択肢の一つとしての色覚補正レンズ

色覚異常を有する方々の色の見え方、感じ方は、その当事者それぞれに違い、文字通り十人十色です。「色」で困ったときに、いつでも気軽に確認できる友だちや、家族など生活のパートナーを持つことと同様に、補正レンズを持つこともそのような選択肢の一つだと思います。

■一般色覚の方々の見え方の例



■色覚異常を有する方々の見え方の例



※右の画像は色覚補正レンズA-8で補正ができる、色覚異常の方の見え方の例です。
光（色）の透過率を逆に設定し色覚異常の見え方を体験できる逆特性レンズを通して撮影しました。
※色覚異常を有する方々が、すべてこのように見えているわけではありません。
また、印刷イメージですので実際の見え方とは少し異なります。

補正レンズは希望につながります

色覚補正レンズは、すでに約2万人余の方々に使用されていますが、それにもかかわらずほとんど知られていません。この補正レンズを着用することで、就職試験に合格した例も多くあります。補正レンズにより、趣味・生活・学問・仕事等で、これまで制限のあった「色覚異常」の方々の選択肢が増え、夢や希望に向かって進むきっかけとなるのではと思います。



色覚補正レンズは、タイプ別に12種類ご用意されています。
真空蒸着加工レンズ（寸法：72mm径 材質：CR-39）



お好きなフレームにレンズを取り付け加工できます。
メガネフレームはメガネ店で好みのお品をお選びください。



色覚補正レンズを使ってみて

実際に補正レンズを生活の中に取り入れている方々の声

- ・紅葉が、初めてキレイに見えた
- ・野菜や魚、肉などの鮮度が分かるようになった
- ・看板の仕事で赤や緑の区別ができるようになった
- ・自分のしていたネクタイの色にビックリした
- ・妻に頼らないで服を選べるようになった
- ・バスの運転手の試験に合格した
- ・カレンダーの祝日、休日の赤色が分かりやすくなった
- ・電車の路線図が分かるようになった
- ・車を運転しているときに、前を走る車のブレーキランプが見えやすくなった
- ・アパレル関係の仕事で色見本が分かるようになった
- ・花火がキレイに見えて感激した
- ・小型船舶操縦試験に合格した
- ・発光ダイオードの、緑・赤・オレンジの色が判断できる
- ・道路工事現場でアスファルトに赤色マーカーで引かれた線が見えるようになった
- ・今まで鮮やかだった街路樹の緑が褪せて見える
多数派の人たちはこんなに褪せた色の街路樹を見ているのか…
- ・レンズは便利だが、それより少しでも周りの環境が変化することが重要だと思う
- ・今まで知らなかった色がたくさんあったことに驚いた
- ・フローリングのメジ、ベニア板の継ぎ目が分かる
- ・コーラの赤い車・赤いポストがはっきり分かった
- ・"ワインカラー"を初めて見た
- ・必要なときに手元にあると便利だと思う
- ・LANケーブルの8本の線の、赤・緑・茶の区別ができるようになった
- ・特に花などは今まで感じたことがないくらいきれいに見える
- ・パソコン画面の小さな丸の、赤・オレンジ・緑、の区別ができる
- ・今まで識別できなかった色合いがよく判るようになった
- ・赤が非常に明るく、緑を暗く感じた
- ・自分自身の色の世界と、レンズを通した新しい色の世界と、色全体の世界が広がる
- ・母の口紅がこんなに紅いことに驚いた etc…



※実際に色覚補正レンズを使用している人の声を、ご本人の了解を得られた分だけ、一部ですが載せています。